

# プログラム④ DX・VRでリハビリテーション

## 講座概要

DXでリハビリテーションの課題解決と次世代の専門家を育成

DX・VRの基礎から、ヘルスケアデータの解析まで、リハビリテーションを通じて学ぶ



- ・VR、AR機器でリハビリに使えるアプリケーションを体験できます。
- ・ウェアラブルデバイスで身体活動を計測し、解析方法を学べます。
- ・超音波エコーを用いてエラストグラフィという筋の硬さの定量評価法を学べます。
- ・ご自身の抱える課題に対するDXを検討します。

おすすめ!



- ①実践力が身につく
- ②経験豊富な講師陣
- ③少人数制
- ④最新の機器・設備での実習

## 募集定員

10名

## 受講対象者

医療・介護・福祉施設等でリハビリテーションに従事等している医療専門職等  
自治体・企業でリハビリテーションDXに従事等している方

## 受講料

10,000円

## 申込期限

※定員に達し次第終了

令和5年9月19日(火) ★申込後の受講料支払期限：9月21日(木)

## 実施場所

金沢大学保健学類2号館2415実習室 (〒920-0942 金沢市小立野5-11-80)

回数	日時	題目・内容	講師名	対面/WEB
1	9月26日(火) 19:00~20:30	【講義】DIGITAL TRANSFORMATION(DX)とは DX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎と活用例を学ぶ。また、2023年に担当教員が開発したDX教材(VRCHATを利用したアバターで参加する遠隔講義プラットフォーム)を活用する。	米田貢 (金沢大学)	対面・WEB
2	10月28日(土) 13:00~14:30	【講義】VIRTUAL REALITY(VR)、AUGMENTED REALITY(AR)、MIXED REALITY(MR)、EXTENDED REALITY(XR)と神経心理学 VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)が脳に対して、どのように作用するのか。教員の研究や論文の講読から、リハビリテーションに役立つ技術であることへの理解を深める。	久保田雅史 (金沢大学)	対面
3	10月28日(土) 14:30~16:00	【実習】VR/AR/MRによるゲーミフィケーション 金沢大学保健学類のVR実習および研究室で、VRゴーグル、ARグラスなどを実際に装着し、一般で広く使われているシステム、アプリケーションを体感し、ゲーミフィケーションの構造を理解する。また、学生教育に使用される解剖学、運動学のVR教材を体験し、最新の教育プログラムを体感する。	間所祥子 菊池ゆひ (金沢大学)	対面
4	11月28日(火) 19:00~20:30	【講義】デジタル技術のリハビリテーションへの活用からヘルスケアへの応用まで 教員等がこれまでにを行ったデジタル技術の開発とリハビリテーションの課題解決への活用事例を紹介する。さらに、健康予防への応用として、企業、自治体との共同研究の実践例を紹介する。	米田貢 (金沢大学)	対面・WEB
5	12月19日(火) 19:00~20:30	【演習】リハビリテーションの課題とDXの可能性の検討(その1) 講義担当教員が主宰するリハビリテーションDX研究会の定例会(月に1回開催)に参加し、受講者の抱えている問題を抽出し、解決すべき課題を整理する。さらに、研究会の会員と意見交換し、受講者の課題に対するDXの可能性を議論する。	リハDX研究会 会員	対面・WEB
6	R6.1月27日(土) 13:00~15:00	【演習】デジタルデータおよびヘルスケアデータの解析演習 受講者間で加速度センサー、エコー等を用いて身体データを計測する。MATLAB(MATHWORKS社、数値解析ソフトウェア)で開発した解析プログラムを利用し、データ整理、統計解析、グラフ作成、機械学習解析等を実習する。希望者には受講期間中に金沢大学のシステムを利用してMATLABの学習を支援する。MATHWORKS社のオンデマンド教材を用いて自宅でも自己学習可能である。	久保田雅史 間所祥子 菊池ゆひ (金沢大学)	対面
7	R6.1月27日(土) 15:00~16:00	【演習】リハビリテーションの課題とDXの可能性の検討(その2) 第5回に引き続き、2回目のリハビリテーションDX研究会の定例会に参加。会員企業との連携	リハDX研究会 会員	対面
8	R6.2月19日(月) 19:00~20:30	【演習】リカレント・プレゼンテーション 受講して自分にとってプラスとなった知識や技術を整理する。自身が考えた課題に対するDXの可能性を分析し、報告する。	米田貢 (金沢大学)	対面・WEB